



日本政策投資銀行

DBJ北海道支店
経済ミニレポートNo.17
2014/11

アジア8地域・北海道観光に関する訪日外国人の意向調査 (平成26年版)

～引き続き北海道ブランドの価値は高く、国内トップクラス～

1. 日本政策投資銀行は、2014年9月、昨年に引き続きアジア8地域（韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）の海外旅行経験者を対象としたインターネットによるアンケート調査を実施した。
2. 本レポートは、その調査結果から「北海道」及び道内の観光地（「札幌」、「函館」、「帯広／十勝」、「知床」、「ニセコ」、「釧路／阿寒」）に関し、訪問経験、認知度、訪問意欲等を取りまとめたものである。（注1）
3. 「北海道」訪問者は、ほとんどの調査対象地域でゴールデンルートに次ぐ高い水準となっている。（注2）
4. 「北海道」に対する認知度及び訪問意欲は、ゴールデンルートの観光地と同等水準以上と日本でトップレベルであり、特に香港、台湾、シンガポールでは北海道への訪問意欲が最も高い。前回調査と比較すると、中国での認知度・訪問意欲が低下する一方、インドネシアでの認知度・訪問意欲が上昇した。これは、国、北海道、札幌市によるプロモーション強化の効果である可能性がある。一方、インドネシアの北海道訪問意欲は20%台に留まっており、一層の開拓余地があると考えられる。
5. 道内の観光地別にみると、「札幌」は調査対象各地域で上位の認知度、訪問意欲を得ている。「函館」は特に台湾、香港では認知度、訪問意欲が高く、全体でも上位にある。「北海道」に対する訪問意欲のある旅行者は、「自然・景観」、「食」、「雪」、「温泉」への期待が高いが、地域によって特徴もみられる。
6. 日本への訪問回数1回の回答者に対象を絞って、「北海道」旅行経験者の回答を日本全体と比較すると、北海道旅行経験者は、「温泉」を理由に来日している比率が高いことが分かった。加えて、日本旅行の際に満足した点でも「温泉」「日本旅館」の比率が全国よりも高く、北海道と温泉のイメージが結びついていることが伺える。
7. 北海道内であっても、認知度が低い地域もある。こうした地域は、北海道を訪れる外国人向けの観光ルートに入るなど、「北海道」の高いブランドを利用した取り組みから始めるべきではないか。また、日本国内・各地で交流人口の拡大に向けインバウンド客の獲得競争が起きており、今後激化が見込まれる中で、北海道も現在のブランドに安住せずに地域の観光資源発掘や新たな観光ルートの開発、メディアを活用した情報発信等たゆまぬ努力で現在の地位を維持・拡充していくことが必要だと考えられる。

（注1） 「釧路／阿寒」は今回調査から選択肢に追加

（注2） 「ゴールデンルート」とは、東京～大阪間を周遊する観光ルート

調査の概要・回答者属性

- 調査方法：インターネットによる調査
- 実施時期：2014年9月9日～2014年9月16日
- 調査地域：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシアの8地域
(注) 中国は北京及び上海在住者のみ
- 調査対象者：20歳～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者
(注) 中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間の旅行については、海外旅行経験から除く
- 有効回答数：上記各地域に居住する住民各500人、計4,000人
(注) 中国は北京及び上海各250人ずつ
- 協力実査会社：株式会社エー・アイ・ピー

◆有効回答数

項目	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア
男性	2,002	251	234	275	229	256	251	248	258
女性	1,998	249	266	225	271	244	249	252	242
総計	4,000	500	500	500	500	500	500	500	500

◆訪日経験

項目	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア
訪日経験なし	2,133	223	220	156	142	275	318	393	406
訪日経験者 (1回)	851	112	170	114	105	125	96	70	59
訪日経験者 (2回以上)	1,016	165	110	230	253	100	86	37	35
総計	4,000	500	500	500	500	500	500	500	500

「1. これまでの日本旅行における訪問地域」、「2. 日本の観光地の認知度」、「3. 日本の観光地への訪問意欲」、における選択肢は以下のとおり。

2013年調査

東京 富士山 箱根 日光 松本 軽井沢 北海道 札幌 函館 帯広／十勝 ニセコ
知床 東北 青森 仙台 松島 平泉 新潟 北陸 金沢 立山／黒部 富山 名古屋
 伊勢／志摩 飛騨／高山 関西 京都 奈良 大阪 神戸 岡山 広島 山陰 鳥取
 松江／出雲 四国 直島 高松 松山／道後 九州 福岡／博多 長崎 別府／湯布院
 熊本／阿蘇 宮崎 鹿児島 沖縄

2014年調査

東京 富士山 箱根 日光 松本 軽井沢 北海道 札幌 函館 帯広／十勝 ニセコ
知床 釧路／阿寒 東北 青森 仙台 松島 平泉 新潟 佐渡 北陸 金沢 立山／黒
 部 富山 名古屋 伊勢／志摩 飛騨／高山 関西 京都 奈良 大阪 神戸 岡山 広
 島 山陰 鳥取 松江／出雲 四国 しまなみ海道 高松 松山／道後 九州 福岡／博
 多 長崎 別府／湯布院 熊本／阿蘇 宮崎 鹿児島 沖縄

1. <訪日経験者> これまでの日本旅行における訪問地域

- ・ 訪日経験者が「北海道」を訪問した比率は、回答者全体の約30%を占めており、ほとんどの調査対象地域でゴールデンルートに次ぐ高い水準となっている。ただし、韓国については、「北海道」よりも「九州」訪問者の比率が高い。
- ・ 道内の各観光地の中では、「札幌」の訪問比率が回答者全体の約21%と、高い水準にあり、全ての調査対象地域で上位20位までに入っている。「函館」は韓国、台湾、香港、シンガポールで上位20位までに入っており、回答者全体でも約11%を占めている。
- ・ 前回調査と比較すると、全体で見ると、「北海道」および道内の各観光地の占める割合や順位に大きな変動は見られないが、地域ごとに見ると、変動が見られる。
- ・ 中国では、「北海道」の比率が7ポイント低下した（「札幌」は変化なし）。
- ・ 逆に、インドネシアでは、「北海道」の比率が7ポイント上昇し、「札幌」の比率が10ポイント上昇した。順位もそれぞれ上昇した。

これまでの日本旅行における訪問地域（複数回答）

（単位：％）

	全体				韓国				中国				台湾				香港			
	2013		2014		2013		2014		2013		2014		2013		2014		2013		2014	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	30	⑤	30	⑤	13	⑪	11	⑩	41	⑤	34	⑤	34	④	35	④	36	⑤	39	⑤
札幌	20	⑧	21	⑦	15	⑦	12	⑨	16	⑫	16	⑧	24	⑥	26	⑤	32	⑥	31	⑥
函館	10	⑫	11	⑫	4		5	⑮	2		3		20	⑪	22	⑭	18	⑬	20	⑮
帯広／十勝	2		3		1		0		0		3		3		5		4		2	
二セコ	2		1		1		1		4		3		2		1		1		1	
知床	2		2		0		0		3		1		2		2		2		4	
釧路／阿寒	—		3		—		0		—		3		—		4		—		4	

東京	65	①	68	①	61	①	54	①	62	①	68	①	57	①	62	①	72	①	75	①
大阪	47	②	48	②	39	②	45	②	49	②	44	④	44	②	47	②	61	②	62	②
京都	40	③	42	③	34	③	33	③	45	④	45	③	40	③	43	③	43	③	48	③
富士山	33	④	38	④	12	⑫	14	⑦	47	③	53	②	18	⑮	23	⑩	40	④	45	④
九州	19	⑩	17	⑪	17	⑤	16	⑤	16	⑪	12	⑬	22	⑧	22	⑬	29	⑧	30	⑧
沖縄	15	⑬	16	⑬	8	⑮	10	⑬	17	⑨	13	⑫	23	⑦	23	⑫	16	⑮	24	⑫

	タイ				シンガポール				マレーシア				インドネシア			
	2013		2014		2013		2014		2013		2014		2013		2014	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	25	⑤	28	⑤	31	⑤	27	⑤	26	⑤	30	⑤	28	⑦	35	⑥
札幌	10	⑰	18	⑥	22	⑥	23	⑥	10	⑬	12	⑬	9	⑮	19	⑪
函館	4		5		12	⑫	9	⑫	5		6		0		5	
帯広／十勝	3		2		3		2		1		3		3		3	
ニセコ	1		3		2		1		1		3		4		1	
知床	2		2		1		1		1		5		4		4	
釧路／阿寒	—		3		—		3		—		1		—		2	

東京	64	①	70	①	74	①	83	①	64	①	62	①	68	①	70	①
大阪	41	③	39	④	42	②	40	③	37	②	46	②	50	②	54	③
京都	41	③	40	③	41	③	34	④	35	③	44	③	40	④	45	④
富士山	43	②	49	②	40	④	45	②	33	④	42	④	44	③	57	②
九州	15	⑬	8	⑮	8	⑮	9	⑮	12	⑪	7	⑮	12	⑫	11	⑮
沖縄	11	⑮	11	⑮	12	⑬	8	⑮	15	⑧	10	⑮	19	⑨	22	⑨

（注）順位は20位まで表示

2. <全員> 日本の観光地の認知度

- ・「北海道」の認知度は約65%と非常に高く、多くの調査対象地域でゴールデンルートと同等以上のトップレベルにある。特に、中国、台湾、香港では、認知後が70%を超えている。
- ・道内の各観光地の中では「札幌」の認知度が約49%と高く、全ての地域で上位20位までに入っている。特に韓国における認知度は高く「北海道」を上回っている。「函館」がそれに次ぐ認知度で約20%である。「函館」は、台湾(約51%)、香港(約41%)における認知度が高い。
- ・道内の他の地域の認知度は1桁に留まっており、「北海道」の認知度との差は大きい。「帯広／十勝」、「釧路／阿寒」は台湾と香港で、「ニセコ」は中国で、「知床」は中国と香港で、比較的認知度が高い。
- ・前回調査と比較すると、インドネシアでは、「北海道」の認知度が9ポイント上昇し、順位も上昇した。

日本の観光地の認知度(複数回答)

(単位：%)

	全体				韓国				中国				台湾				香港			
	2013		2014		2013		2014		2013		2014		2013		2014		2013		2014	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	66	④	65	④	57	⑥	54	⑥	78	③	74	④	82	③	81	②	75	④	75	④
札幌	51	⑨	49	⑨	63	⑤	62	⑤	57	⑩	52	⑬	72	⑧	70	⑧	72	⑤	65	⑨
函館	21		20		18		13		16		18		57	⑱	51	⑳	42		41	
帯広／十勝	7		7		2		2		10		10		12		15		18		15	
ニセコ	5		5		1		2		15		14		6		4		5		5	
知床	6		6		2		1		12		12		9		8		14		14	
釧路／阿寒	—		6		—		3		—		7		—		16		—		13	

東京	77	(1)	78	(1)	75	(1)	75	(1)	78	(2)	80	(2)	83	(1)	83	(1)	84	(1)	85	(1)
大阪	69	(3)	69	(3)	70	(2)	66	(2)	73	(4)	75	(3)	83	(2)	80	(3)	79	(2)	79	(3)
京都	63	(5)	63	(5)	65	(4)	63	(4)	72	(5)	74	(5)	74	(7)	78	(5)	68	(7)	69	(6)
富士山	74	(2)	75	(2)	67	(3)	64	(3)	80	(1)	80	(1)	80	(4)	80	(4)	78	(3)	80	(2)
九州	42	(12)	42	(12)	55	(8)	54	(7)	50	(13)	53	(11)	69	(10)	67	(10)	66	(8)	66	(8)
沖縄	53	(8)	53	(7)	51	(11)	50	(10)	67	(8)	64	(8)	78	(6)	75	(7)	72	(5)	71	(5)

	タイ		シンガポール		マレーシア		インドネシア	
	2013		2014		2013		2014	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	69	(3)	65	(5)	66	(3)	63	(3)
札幌	47	(6)	48	(6)	47	(6)	41	(7)
函館	9		11		13	(17)	13	(16)
帯広／十勝	4		4		3		3	
ニセコ	4		4		3		4	
知床	4		3		3		4	
釧路／阿寒	—		4		—		4	

東京	74	(2)	76	(2)	75	(1)	77	(1)	75	(1)	76	(1)	70	(1)	71	(1)
大阪	65	(5)	67	(4)	64	(4)	61	(4)	61	(3)	65	(3)	60	(3)	59	(3)
京都	66	(4)	67	(3)	54	(5)	51	(5)	48	(5)	51	(5)	53	(4)	49	(4)
富士山	77	(1)	77	(1)	73	(2)	75	(2)	70	(2)	74	(2)	66	(2)	67	(2)
九州	38	(12)	33	(15)	22	(12)	23	(12)	19	(13)	20	(14)	16	(14)	16	(13)
沖縄	40	(11)	44	(8)	42	(7)	44	(6)	40	(9)	41	(8)	37	(10)	34	(10)

(注) 順位は20位まで表示

3. <全員> 日本の観光地への訪問意欲

- ・「北海道」への訪問意欲は約43%と非常に高く、多くの調査対象地域でゴールデンルートと同等以上のトップレベルにある。特に、台湾、香港、シンガポールでは、「北海道」が1位である。
- ・道内の各観光地の中では「札幌」への訪問意欲が約22%と高く、全ての地域で上位10位までに入っている。特に韓国における訪問意欲は約32%(2位)と高く「北海道」を上回っている。「函館」がそれに次ぐ訪問意欲で約8%である。「函館」は、台湾(約24%)、香港(約16%)における訪問意欲が高い。
- ・道内の他の地域への訪問意欲は2%程度に留まっており、「北海道」への訪問意欲との差は大きい。「帯広／十勝」、「知床」、「釧路／阿寒」は香港と台湾、「ニセコ」は中国で比較的訪問意欲が高い。
- ・前回調査と比較すると、インドネシアでは、「北海道」への訪問意欲が6ポイント上昇し、順位も上昇した。逆に、中国、香港では、「北海道」への訪問意欲が低下し、香港では「札幌」への訪問意欲も低下した。

日本の観光地への訪問意欲(複数回答)

(単位：%)

	全体				韓国				中国				台湾				香港			
	2013		2014		2013		2014		2013		2014		2013		2014		2013		2014	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	45	③	43	③	21	⑥	25	④	59	②	51	③	62	①	60	①	50	①	45	①
札幌	23	⑦	22	⑦	31	④	32	②	23	⑩	21	⑩	39	⑧	30	⑧	30	⑥	24	⑦
函館	8	⑱	8	⑱	4		4		4		5		29	⑫	24	⑮	17	⑬	16	⑪
帯広／十勝	2		2		0		1		2		2		7		6		5		5	
ニセコ	2		2		0		1		5		5		2		2		1		1	
知床	2		2		1		0		2		2		3		3		5		7	
釧路／阿寒	—		2		—		0		—		1		—		7		—		7	

東京	47	②	47	①	32	③	35	①	51	③	53	②	51	②	47	②	42	②	36	②
大阪	37	④	35	④	32	②	24	⑤	41	⑤	40	⑤	51	③	42	⑤	34	④	32	④
京都	33	⑤	32	⑤	26	⑤	23	⑥	44	④	49	④	50	④	43	④	29	⑦	26	⑥
富士山	48	①	47	②	33	①	30	③	61	①	61	①	47	⑤	47	③	32	⑤	27	⑤
九州	15	⑩	13	⑩	17	⑧	14	⑨	17	⑪	14	⑮	27	⑬	24	⑰	23	⑩	19	⑩
沖縄	25	⑥	24	⑥	20	⑦	23	⑦	29	⑦	31	⑦	46	⑥	39	⑥	34	③	34	③

	タイ				シンガポール				マレーシア				インドネシア			
	2013		2014		2013		2014		2013		2014		2013		2014	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	47	③	43	③	53	①	52	①	47	③	43	③	15	⑧	21	⑤
札幌	22	⑥	24	⑥	21	⑥	18	⑦	11	⑨	11	⑨	9	⑪	11	⑩
函館	3		3		6	⑰	5	⑰	2		3	⑳	1		1	
帯広／十勝	1		1		2		1		1		0		0		1	
ニセコ	1		1		2		1		1		2		0		1	
知床	1		1		1		2		1		1		1		1	
釧路／阿寒	—		1		—		1		—		1		—		1	

東京	50	②	50	②	43	③	52	②	55	①	54	①	53	①	51	②
大阪	34	⑤	39	④	33	④	32	④	35	④	36	④	35	③	34	③
京都	39	④	37	⑤	24	⑤	24	⑤	23	⑤	27	⑤	26	④	25	④
富士山	56	①	56	①	52	②	50	③	50	②	52	②	50	②	52	①
九州	13	⑬	11	⑭	9	⑪	8	⑫	7	⑫	6	⑫	4	⑮	5	⑬
沖縄	18	⑦	19	⑦	18	⑦	19	⑥	17	⑦	16	⑦	15	⑨	12	⑨

(注)順位は20位まで表示

4. <北海道訪問意欲回答者> 北海道観光への期待

- ・「北海道」に対する訪問意欲のある回答者に対し、「何を期待して行ってみたいと思うか」と尋ねたところ、「自然や風景の見物」「日本料理を食べる」「雪景色観賞」がほぼ同水準となった。
- ・前年との比較で、上位の項目に大きな変動はない。
- ・シンガポール、マレーシア、インドネシアでは、「リーズナブルで清潔な施設での宿泊」「安くおいしい料理を食べる」の回答割合が高く、価格面への関心の高さが伺える。
- ・この3カ国にタイを加えた地域では、「桜の観賞」「紅葉の観賞」への期待が大きい。

北海道観光に期待すること（複数回答）

（単位：％）

		全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガ ポール	マレーシア	インドネ シア
回答数	順位	1628	116	254	294	223	208	239	199	95
自然や風景の見物	1(1)	67	67	61	72	65	59	69	77	68
日本料理を食べる	2(2)	67	59	53	67	70	65	80	74	63
雪景色観賞	3(3)	67	65	50	79	75	63	65	70	62
のんびりと保養・休養	4(7)	60	53	38	70	71	61	67	61	57
温泉への入浴	5(4)	55	54	41	64	58	47	64	59	44
日本旅館での宿泊	6(9)	54	49	46	45	54	58	66	66	52
リーズナブルで清潔な施設での 宿泊	7(6)	54	52	33	54	50	56	61	68	67
安くおいしい料理を食べる	8(5)	53	37	33	50	49	57	67	71	62
自分の好物を食べる	9(8)	50	31	51	57	61	50	46	48	40
自然や資源を損なうことのないよ う配慮されている観光地・観光ツ アーに行く	10(10)	42	37	26	34	32	50	57	55	56
桜の観賞	11(-)	39	21	24	29	33	45	58	58	49
友達との親睦や家族だんらん	12(17)	39	24	20	37	53	34	45	50	56
紅葉の観賞	13(-)	39	18	22	31	34	44	53	58	59
日本酒を飲む	14(12)	38	24	40	35	29	41	43	46	40
食品や飲料のショッピング	15(11)	36	21	21	33	43	37	48	44	38

（注）順位欄の（ ）内は、前年調査時の順位
「桜の観賞」「紅葉の観賞」は今年追加した選択肢

5. <来日経験1回> 旅行先として日本を選んだ理由

- 来日経験1回の旅行者が、旅行先として日本を選んだ理由の比率を、北海道来訪者と、日本全体(北海道来訪者を含む)で比較したもの。(注)
- 日本全体、北海道ともに、「日本食」「自然や風景」が上位となった。
- 「温泉」は、日本全体でも上位であるが、北海道訪問者では日本全体を16ポイント上回っており、「温泉」に関心のある旅行者が北海道を訪れている可能性がある。
- また、それほど高い比率ではないが、「キャンペーン」を理由に挙げた比率は、北海道訪問者は日本全体を8ポイント上回った。

旅行先として日本を選んだ理由(複数回答)

(単位：%)

	全体	北海道	九州
回答数	851	177	55
日本食に関心があったから	50	55	42
日本の自然や風景に関心があったから	47	53	49
日本の温泉に関心があったから	39	55	47
日本の文化・歴史に関心があったから	37	39	31
治安が良いから	34	33	35
日本でのショッピングに関心があったから	33	40	20
日本の世界遺産に関心があったから	27	34	18
友人・知人の勧めがあったから	25	28	29
直行便があったから	22	25	16
日本の科学・技術に関心があったから	21	24	16
渡航時間が短かったから	21	19	22
日本のファッション、ゲーム、アニメに関心があったから	19	25	15
家族の勧めがあったから	18	22	29
価格が安かったから	18	21	18
日本の鉄道に関心があったから	17	20	22
LCC便があったから	12	16	13
新聞・雑誌で見たから	12	14	18
TV(CM)で見たから	11	15	16
ネット広告、ブログ・SNSで評判が良かったから	11	16	18
キャンペーンをしていたから	10	18	9
日本でのスポーツに関心があったから	6	8	11
その他	4	3	5

(注) 来日経験1回であり、かつ、北海道来訪者の回答は、北海道を訪問する外国人の考えを反映する度合いが高いと考えられる。(次頁も同様)

6. **<来日経験1回>** 日本旅行の際に最も満足した項目（5つまで選択）

- 来日経験1回の旅行者が、日本旅行の際に最も満足した項目の比率を、北海道来訪者と、日本全体(北海道来訪者を含む)で比較したもの。
- 北海道訪問者、日本全体ともに「日本料理」「自然・景観」が上位となった。
- 北海道訪問者と日本全体との比較では、北海道訪問者では、「温泉」や「日本旅館」の満足度が高かった。また「桜の観賞」の満足度も高かった。

日本旅行の際に最も満足したこと（5つまで選択）

（単位：％）

	全体	北海道	九州
回答数	851	177	55
日本料理を食べる	47	50	38
自然や風景の見物	36	38	35
温泉への入浴	28	42	38
リーズナブルで清潔な施設での宿泊	24	23	29
自分の好物を食べる	21	19	22
有名な史跡や歴史的な建築物の見物	20	15	25
治安が良く安心して旅ができる	19	16	9
どこも清潔/衛生的で快適に過ごせる	18	11	16
安くおいしい料理を食べる	17	14	15
洋服やファッション雑貨のショッピング	16	16	16
日本旅館での宿泊	15	23	16
桜の観賞	15	25	16
遊園地やテーマパークに行く	14	10	15
食品や飲料のショッピング	14	11	9
鉄道に乗る	10	11	9
のんびりと保養・休養	10	11	9
雪景色観賞	10	14	16
世界遺産の見物	9	8	9
アニメやポップカルチャーに関するグッズの購入	9	7	7
日本酒を飲む	8	10	5



本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い、転載・複製する際は、必ず、出所:日本政策投資銀行と明記して下さい。

(お問い合わせ先)

株式会社日本政策投資銀行 北海道支店 企画調査課
〒060-0003
札幌市中央区北3条西4丁目1 日本生命札幌ビル4F
Tel : 011-241-4117
E-mail : hkinfo@dbj.jp
HP : <http://www.dbj.jp/co/info/branchnews/hokkaido/>